

秋の大法要でお話をさせて頂きましたが、本日は「実相は無相なり、無相は実相なり」という部分をもう少しお話させて頂きます。

人間は病気になりますけれども、実際は何が原因でそうなのかなのは分からないのです。

昔よく会主さまから「風邪とかガンとかは人間が決めた病名ですが、霊界は違った名前かもしれないです」とご指導を頂戴いたしました。こういう考え方、取り方をするのが妙智會です。

ですから妙智會では、身体に法名をつけられるのです。

例えば同じ病気でも人によっては、霊界からしますとその原因は違うものなのです。

病気や身体の部位ではなく、霊界からみての原因の部分に法名をお付けしているので、法名がお力を下さっているのです。

しかしご法名をお付けする方と受ける方が、娑婆的な考え方ですと、そのご法名は力を出す事ができないのです。

人を救う為には、一般の社会で使われている言葉や姿ではない、その奥にある霊界のものを見なければならないのです。

また、会主さまが喜謝のお話しをされました時は「お金を頂くのではないのです。皆さまの持っているお金についての奥の部分の頂いて、それを解決しているのです」と仰っておりました。

ここはとても大事な事ですので、会員の皆さまにも妙智會の深い事を理解して頂きたいと思います。

今日は会主さまの今年最後の月命日で、その事をよく仰ってありがとうございましたので、このご指導をさせて頂きました。

そしてもう一つお話をさせて頂きます。

大導師さまがご生前中も、建物の劣化で修理が必要な事がございました。そのご報告をさせて頂く時に、錆びたとか壊れたなどの目に見える報告を先に申し上げますとお叱りを頂きました。

まずは自分自身が、その事に対して心が足りていなかった事を懺悔してから、次の報告をする大切さを教えて頂きました。

一番大事な事を行わないで、形だけやっても次はそれ以上のことが起こってしまうのです。ここも非常に大切なことであります。

最後になりますが、妙智會は先祖供養の教えですので、どんな時でも親と先祖の事を忘れてはいけません。

日々の生活の中で「お父さん、お母さん、ご先祖さまありがとうございます」と全てに繋げて感謝をする事が妙智會なのです。

私たちの生活の中で、親と先祖より大事なものは無いのです。

妙智會が一番素晴らしい教えなのです。